**2024 熱力学２　の受講に当たって**

**聴講前準備**　各自は下記のBoxから講義ノートや資料をdownloadし，紙に印刷して受講すること．

**Box**　　<https://tus.app.box.com/folder/257665477485?s=sbbk1vaagtts92srabwbmirwvxq0t4r4>

**出席登録**　出席のモバイル登録に必要な4桁のkeywordは講義中に伝えます．

**Zoom**　<https://tus-ac-jp.zoom.us/j/96656633789?pwd=M2lFYkJaTFE4UG5wbEZHbUQ3aHB2UT09>

ミーティング ID: 966 5663 3789 パスコード: 676745

講義中は，各自PCを立ち上げ，Zoomを開いておくこと．

**演習**　必要に応じて講義中に教室で演習課題を出します． 紙ベースで配布・解答します．

**課題**　LETUSで課題を出します．提出されたレポートは，剽窃チェックを行います．

レポートは，wordで作成し，pdfファイルに変換してuploadすること．

手書きしたものを，スキャンしたり，撮影して，それらをpdfファイルに変換したレポートは

評価対象としません．（０点です）

次ページへ続く

君が提出するすべての　**レポート書式と提出**　について

※　レポート作成のword fileの書式のテンプレートを**この文書の書式をそのまま利用すること**．

１　wordで作成したファイルをpdfに変換したものを提出すること．（剽窃チェツクをおこなうため）

　　手書きした文章，式，図，グラフを撮影またはスキャンしてwordに貼り付け，pdfに変換したものは原則

　　として，認めない．（どんなに立派なレポートでも０点とする）

２　レポートはwordで作成すること．**手書きレポートは評価しない**（0点とする）

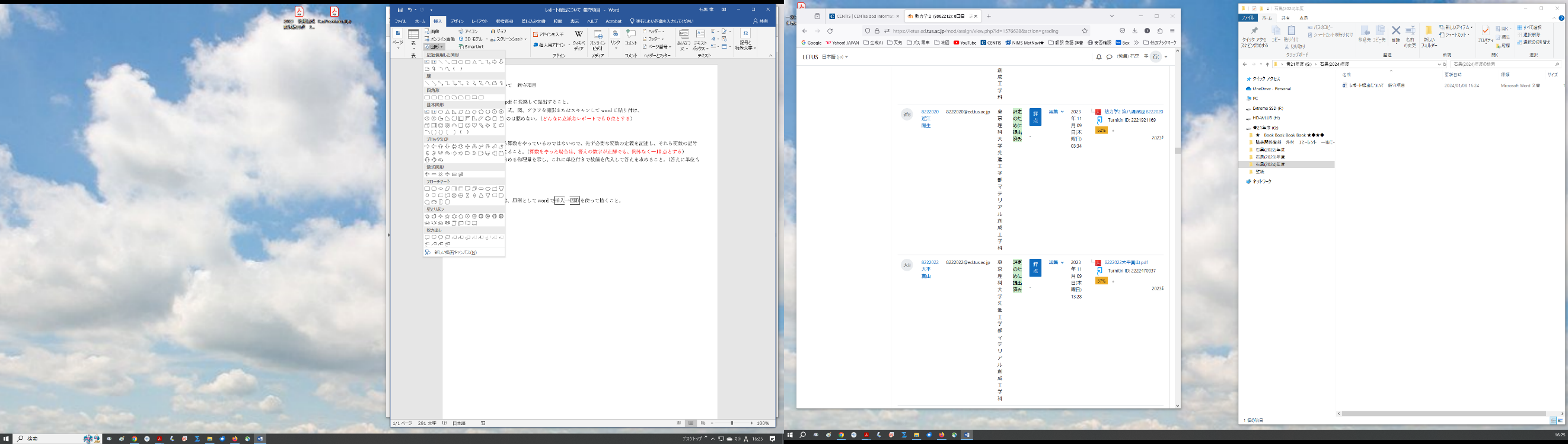
　　wordの行間はホーム→段落で1行とすること．

　　wordのレイアウト→余白→狭いとすること．

　　wordの挿入→ヘッダ→　学籍番号　氏名　を記入すること

　　ファイル名は　**学籍番号　氏名　科目名　XX回目レポート**とすること

３　図を描くときには，原則としてwordで挿入→図形を使って描くこと．



　※　図形の位置を最も高精度で配置するために，次のように設定すること．

　レイアウト→配置→グリッドの設定→文字グリッド線の間隔→0.01字　行グリッド線の間隔→0.01行

４　計算では，単なる算数をやっているのではないので，先ず必要な変数の定義を記述し，それら変数の記号

　　を用いて式を立てること．（算数をやった場合は，答えの数字が正解でも，例外なく減点する）

　　式を変形して，求める物理量を示し，これに単位付きで数値を代入して答えを求めること．（答えに単位も

　　忘れずに！）

**例**長方形の面積：，縦の長さ: ，横の長さ：とすると

　//

５　式は3文字程度のインデントを取った左寄せで書き始め，式変形する場合は改行した後，＝（イコール）

　　の位置が同じくなるようにすること．（中央揃えはみにくい！！）

６　式変形は論理展開であり，極めて重要である．よって，必要に応じて“=”の理由を付記すること！

　　断片的な式だけ，単語だけを並べたのでは文脈は伝わらない．

　　式変形は理系の“文章”である．理科大生として，ちゃんとした文章が書ける人になること！！

７　当然のことであるが，レポートは自分で解答すること．剽窃チェックで一致率を過去に遡って確認でき

　　るので，単にコピペで作成したレポートはわかってしまう．これはカンニングと同じである．クラスに

　　提供した者，写した者がいる場合，両者は0点となる．

８　過去レポートを含め，他者のレポートを写してはいけない．**部分的にも写してはいけない！！**

　　自分で考え，自分の言葉，自分で確認・理解した式を用いて書くこと．

　　※　問題にもよるが，剽窃チェックで一致度が(50～60)％以上の場合は，0点もしくは％分得点を減じる．

　　※　シラバスの評価方法を確認してください．